

# 県立多治見病院 緩和ケアチーム通信



発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム 2016年 5月号 VOL.62

文責：河村和代・長縄淳平 編集：櫻田亜矢子

この4月から緩和ケアチームに復帰しましたリハビリテーション科の河村和代です。数年前、まだ緩和ケア病棟が立ち上がる前の時期から関わっておりましたが、しばらくの間離れており、出戻りとなりました。先月参加した、緩和ケアチームのケースカンファレンスで、涙ながらに

『できることは協力させて頂きたい』とご家族に伝える緩和ケアチームのメンバーの姿に、変わらない熱い思いを感じ、これからこのメンバーの一員として活動していくのだなと身の引き締まる思いがしました。多職種によるチーム医療が滞りなく進んでいける一翼が担えたらと思っています。よろしくお願いいたします。



初めまして。4月から緩和ケアチームに参加させていただいております、リハビリテーション科、理学療法士の長縄淳平です。緩和ケアでは、理学療法士という専門性から、身体機能の維持だけでなく、安楽・安全な姿勢や動作方法の指導、療養場所の環境整備などでお力になれる機会も多いと思います。患者さんとご家族の想いに寄り添いながら、希望されている療養場所で、人間らしく尊厳をもって過ごしていただけるように、チームの一員として連携・協力させていただきます。そして、最期を迎えられるまでに、たくさんの笑顔が得られるよう、微力ながら頑張りたいと思います。みなさんよろしくお願いいたします。



## 第2回緩和ケア勉強会

日時：平成28年6月9日(木) 18:00~19:30

場所：中央診療棟3階 講堂

内容：『精神的な問題を抱えた患者への緩和ケアを考える』

発表者：当院スタッフ

有料老人ホーム「生楽館」スタッフ



ご参加ください